



2012年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2011年9月29日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 美津子
 問合せ先責任者 (役職名) 経本本部長 (氏名) 新田 悟 (TEL) 043 (212) 6203
 四半期報告書提出予定日 2011年10月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2012年2月期第2四半期の業績（2011年2月21日～2011年8月20日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2012年2月期第2四半期	20,858	△1.4	1,583	53.8	1,581	68.0	694	61.3
2011年2月期第2四半期	21,164	△7.7	1,030	△30.0	941	△32.8	430	△35.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2012年2月期第2四半期	38	29	38	21
2011年2月期第2四半期	23	73	23	70

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2012年2月期第2四半期	24,119		17,777		73.6	978	78	
2011年2月期	21,421		17,613		82.1	970	50	

(参考) 自己資本 2012年2月期第2四半期 17,744百万円 2011年2月期 17,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2011年2月期	—	—	0	00	—	—	30	00	30	00
2012年2月期	—	—	0	00						
2012年2月期 (予想)					—	—	30	00	30	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 2012年2月期の業績予想（2011年2月21日～2012年2月20日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	42,300	0.1	3,200	19.3	3,200	23.0	1,500	19.4	82	73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2012年2月期2Q	18,175,688株	2011年2月期	18,175,688株
② 期末自己株式数	2012年2月期2Q	46,072株	2011年2月期	47,051株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2012年2月期2Q	18,129,187株	2011年2月期2Q	18,126,132株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間は、店舗の客層に対応したきめの細かい遊戯機械の品揃えや、ファンタジースキッズガーデンを中心とした時間制遊具グループでの店スタッフと子供たちとの「遊戯」を行うイベントプログラムの充実等を当年度の重点施策と位置づけスタートしました。そのような中、東日本大震災で一時的に109店舗が休業を余儀なくされ、3月度、4月度は大幅な売上の減少となり、第1四半期会計期間の売上高は前年同期比5.6%減となりました。

しかしながら、上記重点施策への継続的取り組みや震災後「元気・笑顔プロジェクト」と称し展開した幼児向け乗り物等の無料提供を実施するなど、全社一丸となった取り組みが大きな力となり、5月度以降から売上が回復いたしました。

これにより、当第2四半期会計期間の売上高は112億7百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益13億23百万円（同67.0%増）、経常利益13億22百万円（同82.5%増）、四半期純利益7億41百万円（同108.5%増）となりました。

当第2四半期会計期間の商品グループ別の既存店売上伸び率は、店別品揃えの強化を進めたメダルグループが6.9%増、時間制遊具グループが16.2%増と重点施策に取り組んだグループの売上が好調に推移したことに加え、売上構成の大きいプライズグループも4.7%増と売上の伸びを牽引しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、208億58百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益15億83百万円（同53.8%増）、経常利益15億81百万円（同68.0%増）、四半期純利益6億94百万円（同61.3%増）と大幅な増益となりました。

尚、海外事業2社については非連結子会社であります。イオンファンタジーマレーシアで8月20日時点でフランチャイズ店14店を直営化するとともに、8月末に新たに1店舗の直営店舗の出店を行うなど順調に拡大を続けており、9月末時点で18店舗体制となる予定です。

また、中国においては、イオンファンタジー北京の3店舗の売上は引き続き順調に推移しており、前年比較可能な1号店の前年同期比は20.6%増となりました。（イオンファンタジー北京の当第2四半期累計期間は1月度～6月度）なお、中国での出店は年内に2店舗程度を計画しており、その中にはイオン系以外の物件も含まれております。

このように、海外事業は順調に成長拡大に向けた取り組みを進めております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前期末と比べて16億58百万円増加し121億54百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（33億75百万円）と、売上預け金の増加（25億95百万円）、関係会社寄託金の増加（20億円）であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、前期末と比べて10億39百万円増加し119億65百万円となりました。主な要因は、新規出店や活性化等の設備投資に伴う有形固定資産の取得（25億34百万円）や減価償却費の計上による減少（18億74百万円）、イオンファンタジーマレーシアへの出資（7億87百万円）による増加であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前期末と比べて23億74百万円増加し61億38百万円となりました。主な要因は、新規出店や活性化投資等の設備投資により設備関係支払手形が7億69百万円増加したことあります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、前期末と比べて1億59百万円増加し2億3百万円となりました。主な要因は、資産除去債務を1億89百万円計上したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前期末と比べて1億64百万円増加し177億77百万円となりました。主な要因は、配当金5億42百万円の支払いによる減少、また、四半期純利益6億94百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、46億80百万円（前年同期比16億15百万円減）となりました。主な理由は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、11億95百万円（前年同期比21億83百万円減）となりました。その主な内訳は、減価償却費18億74百万円の計上や、売上預け金の増加額25億95百万円、仕入債務の増加額5億70百万円、法人税等の支払額6億47百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、40億28百万円（前年同期比21億33百万円増）となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出12億11百万円、関係会社株式（イオンファンタジーマレーシア）の取得と増資による支出7億87百万円、関係会社寄託金の純増額20億円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億43百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億42百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績が好調に推移いたしましたので、2011年9月9日に通期業績予想の上方修正を開示しております。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ4,468千円減少し、税引前四半期純利益は190,108千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は203,473千円であります。

なお、従来、店舗の閉鎖に伴い発生する原状回復費用については閉店損失引当金として計上してはいたしましたが、同会計基準の適用に伴い、第1四半期会計期間から資産除去債務として計上しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,680,141	8,055,740
売掛金	4,354	3,234
売上預け金	3,667,535	1,072,023
商品	423,171	277,876
貯蔵品	392,197	383,767
関係会社寄託金	2,000,000	—
その他	986,693	702,705
流動資産合計	12,154,094	10,495,348
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	849,509	886,506
遊戯機械(純額)	5,501,286	4,930,785
その他(純額)	454,730	502,808
有形固定資産合計	6,805,526	6,320,100
無形固定資産		
のれん	1,029,917	1,144,352
その他	17,570	24,196
無形固定資産合計	1,047,488	1,168,549
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,023,442	2,113,623
その他	2,088,733	1,323,839
投資その他の資産合計	4,112,176	3,437,462
固定資産合計	11,965,190	10,926,111
資産合計	24,119,285	21,421,460

(株)イオンファンタジー(4343)2012年2月期第2四半期決算短信

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,401,609	831,387
未払費用	1,329,806	1,081,561
未払法人税等	909,656	690,383
賞与引当金	176,862	151,541
役員業績報酬引当金	23,499	57,226
設備関係支払手形	1,259,978	490,075
閉店損失引当金	1,497	—
資産除去債務	242	—
その他	1,035,241	462,154
流動負債合計	6,138,393	3,764,330
固定負債		
資産除去債務	189,471	—
その他	13,680	43,960
固定負債合計	203,151	43,960
負債合計	6,341,544	3,808,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,717,378	1,718,312
利益剰余金	14,354,132	14,203,882
自己株式	△73,804	△75,439
株主資本合計	17,744,846	17,593,894
新株予約権	32,894	19,275
純資産合計	17,777,740	17,613,169
負債純資産合計	24,119,285	21,421,460

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)
売上高	21,164,153	20,858,443
売上原価	18,909,078	18,080,074
売上総利益	2,255,075	2,778,368
販売費及び一般管理費	1,224,873	1,194,390
営業利益	1,030,202	1,583,977
営業外収益		
受取利息	937	4,021
機械仕入割戻	10,360	4,268
受取保険金	—	5,490
固定資産売却益	—	4,954
その他	23,695	3,609
営業外収益合計	34,993	22,344
営業外費用		
減価償却費	34,487	—
リース解約損	—	6,180
固定資産売却損	79,428	17,486
その他	10,257	1,600
営業外費用合計	124,173	25,267
経常利益	941,021	1,581,055
特別利益		
役員業績報酬引当金戻入額	451	13,658
受取和解金	58,420	—
受取保険金	—	100,000
特別利益合計	58,871	113,658
特別損失		
店舗閉鎖損失	50,638	12,318
閉店損失引当金繰入額	5,684	1,497
減損損失	—	18,821
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	185,639
災害による損失	—	98,470
特別損失合計	56,322	316,746
税引前四半期純利益	943,571	1,377,966
法人税、住民税及び事業税	693,533	864,127
法人税等調整額	△180,151	△180,270
法人税等合計	513,382	683,857
四半期純利益	430,189	694,109

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年5月21日 至平成23年8月20日)
売上高	10,941,858	11,207,907
売上原価	9,582,607	9,298,756
売上総利益	1,359,251	1,909,151
販売費及び一般管理費	566,404	585,490
営業利益	792,847	1,323,660
営業外収益		
受取利息	604	3,098
機械仕入割戻	1,754	3,382
固定資産売却益	—	4,298
その他	12,749	4,459
営業外収益合計	15,108	15,239
営業外費用		
減価償却費	190	—
固定資産売却損	79,428	15,599
その他	3,847	1,257
営業外費用合計	83,466	16,856
経常利益	724,489	1,322,043
特別利益		
災害損失引当金戻入額	—	26,120
特別利益合計	—	26,120
特別損失		
店舗閉鎖損失	18,933	—
閉店損失引当金繰入額	5,684	1,497
特別損失合計	24,617	1,497
税引前四半期純利益	699,871	1,346,666
法人税、住民税及び事業税	465,244	719,558
法人税等調整額	△120,973	△114,316
法人税等合計	344,271	605,242
四半期純利益	355,600	741,423

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	943,571	1,377,966
減価償却費	2,470,760	1,874,468
固定資産除売却損益(△は益)	201,800	203,572
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,659	25,320
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△9,996	△33,726
受取利息	△937	△4,021
受取保険金	—	△100,000
減損損失	—	18,821
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	185,639
受取和解金	△58,420	—
災害損失	—	98,470
売上債権の増減額(△は増加)	△703	△1,119
売上預け金の増減額(△は増加)	△515,453	△2,595,511
たな卸資産の増減額(△は増加)	△35,219	△153,724
仕入債務の増減額(△は減少)	249,523	570,221
その他	281,529	275,614
小計	3,537,114	1,741,990
利息の受取額	1,199	1,659
和解金等の受取額	125,727	—
保険金の受取額	—	100,000
法人税等の支払額	△284,501	△647,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,379,539	1,195,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,884,561	△1,211,839
有形固定資産の売却による収入	59,788	69,788
関係会社株式の取得による支出	—	△787,246
関係会社出資金の払込による支出	—	△120,000
長期前払費用の増加による支出	△16,762	△18,142
敷金及び保証金の差入による支出	△26,410	△15,858
敷金及び保証金の回収による収入	63,537	61,811
関係会社貸付けによる支出	△90,000	—
関係会社寄託金の純増減額(△は増加)	—	△2,000,000
その他	—	△6,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,894,408	△4,028,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△135	△128
配当金の支払額	△542,851	△542,982
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△542,987	△543,109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	942,144	△3,375,598
現金及び現金同等物の期首残高	5,353,552	8,055,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,295,696	4,680,141

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。